

腎生検 光顕・蛍光・電顕の基礎から未来へ

検体の取り扱い、光顕・蛍光・電顕の基本と解釈、そして腎病理におけるAIの可能性をテーマとした教育プログラムをオンライン開催します。腎病理診断の経験年数、職種を問わず、是非web上で交流しましょう。ご参加には事前登録が必要です。下段の参加登録URLから登録ください。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2024年12月14日(土曜) 10時~12時

形式 Zoom webinarを用いたオンライン研究会

プログラム

座長 前半：市立大津市民病院 病理診断科 益澤 尚子先生
田附興風会 医学研究所北野病院 腎臓内科 遠藤 知美先生

後半：日本医科大学 解析人体病理学 清水 章先生
金沢大学大学院 腎臓・リウマチ膠原病内科学 原 怜史先生

1. 腎生検検体の取り扱いと特殊染色を再考する
香川大学 分子腫瘍病理学 伊吹 英美先生
2. 腎生検の免疫染色update:-腎病理協会学術委員会アンケート結果をふまえて
神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科 原 重雄先生
3. 電顕の見方と腎生検組織を用いた免疫電顕について
NPO法人 長野県慢性腎臓病の病態と治療研究会 江原 孝史先生
4. AIによる腎病理診断支援
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 松井 功先生

参加登録URL：<https://peatix.com/event/4154990/view>

参加費 ¥2000(登録時にお支払いください)

申込期限 12月10日午前10時まで

※参加登録いただいた方を対象にオンデマンド配信を予定しています。

お問い合わせ(教育プログラム事務局):repathol-edu@yahoo.co.jp